

# なでしこへ着々

小美玉市の女子サッカー選手育成施設「小美玉フットボールアカデミー(F.A)」の選手たちが、2年目のシーズンを戦っている。今年5月の全日本女子ユース(U-15)選手権県予選で初優勝を果たし、将来の日本代表候補が集う「関東トレセン」には2人が選出された。今年度は6人が入校し、全国一、そして未来の「なでしこ」を目指して練習に取り組んでいる。

\*

小美玉F.Aは女子中学生のプレー機会を増やし、将来のトップ選手を育てようと、昨年4月に開校した。現在、2年生12人、1年生6人の計18人が所属しており、うち10人が北海道や兵庫県など県外出身者だ。

寮生活を送る15人は市立小川南中に通学し、放課後や休日に練習している。兵庫県出身で1年のDF日高偉織選手(13)は、「最初は不安だったが、サッカーに集中できるし、友達も増えてきた」と笑う。

2年目に入り、寮生活の効果が出てきた。管理された食事とトレーニングで、2年生は1年半で体重が平均10kg近く増加し、強豪相手にも当たり負けしなくなった。関東ト

## 女子サッカー アカデミー2年目



ジェフ千葉レディースとのミニゲームで、パスを出して好機をつくる紺野選手(中央)(11日、鉾田市当間で)

## U-15 県予選初V

### 3期生募集

小美玉F.Aは3期生を10人程度募集している。出願資格は2015年4月に中学1年になる女子。全寮型と、平日の練習は通いで参加し、金、土曜に宿泊して日曜に自宅に帰る週末宿泊型がある。11月16日締め切り。試験は実技のみで、小美玉市内で12月6日に行う。

問い合わせは小美玉F.A事務局  
(0299)580017

レセンには、2年でFWの紺野真優(13)と山岸夢歩(14)の両選手が選出。代表につながるナショナルトレセンの選考会では、他の選手の技術の高さに圧倒されたが、山岸選手は、「フィジカルとスピードは通用した」と手応えを感じた。

県予選を制して出場した6月の関東予選では、栃木SCレディースに0-6で敗れ、初の全国大会出場は果たせなかったが、着実に成長を見せている選手たち。

今年11日には鉾田市総合公園で、全国ベスト8のジェフ千葉レディースとのミニゲームに臨んだ。昨年はシュートさえ打たせられなかったが、この日は山岸選手がロングシュートを決めるなど、攻撃の機会を何度も作った。

松下潤ヘッドコーチ(35)は、「掃除や洗濯など、身の回りのことを自分たちですること、自主性が育った。その自主性をプレーで表現できれば、もっと強くなる」と期待を込めた。